

(様式例第11)



鳥支総第 944号
平成28年10月5日

都道府県知事 殿

住 所 鳥取市東町1丁目271番地
申請者 氏 名 日本赤十字社鳥取県支部
支部長 平井 伸治



鳥取赤十字病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒680-0011 鳥取県鳥取市東町1丁目271番地 /
氏名	日本赤十字社鳥取県支部 支部長 平井 伸治 /

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鳥取赤十字病院 /

3 所在の場所

〒680-8517 鳥取県鳥取市尚徳町117 /	電話 (0857) 24-8111 /
-----------------------------	---------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	400床	400床 /

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
HCU	(主な設備) 病床数11床 / 患者監視装置、人工呼吸器、除細動器、人工透析装置、IABP、体外式ペースメーカー、AED
化学検査室	(主な設備) / 生化学自動分析装置、自動免疫学分析装置、自動血球計数装置
細菌検査室	(主な設備) / 全自動細菌検査システム、蛍光顕微鏡
病理検査室	(主な設備) / 病理検査システム、凍結切片作成装置、自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作成装置、自動染色装置、顕微鏡
病理解剖室	(主な設備) / 解剖台、写真撮影装置
研究室	(主な設備) / パソコン、机、椅子
講義室	室数 4室 収容定員 100~200人 /
図書室	室数 1室 蔵書数 12,464冊程度 /
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) / 保有台数 2台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 32.71㎡ /

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	64.5%	算定期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	91.9%		
算出根拠	A：紹介患者の数		7,536人
	B：初診患者の数		11,683人
	C：逆紹介患者の数		10,745人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
		様式第13 別紙			
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	
			常勤 非常勤	専従 非専従	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	23床
専用病床	(うちB8病棟の救急用 12床)

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	85.2㎡	(主な設備) 除細動器、超音波診断装置、患者監視用モニター	可
手術室	1,024.79㎡	(主な設備) 麻酔器、患者監視用モニター、カウンターショック、ポータブルレントゲン撮影装置	可
HCU	371.09㎡	(主な設備) 患者監視装置、人工呼吸器、除細動器、人工透析装置、IABP、体外式ペースメーカー、AED	可
B8病棟	1431.6㎡	(主な設備) 患者監視装置、人工透析装置、AED	可
放射線技術課	1,680.42㎡	(主な設備) 一般レントゲン、CT、血管撮影装置	可

4 備考

救急病院認定（鳥取県告示第109号）

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,328人 (1,294人)
上記以外の救急患者の数	5,963人 (955人)
合計	8,291人 (2,249人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

様式第14別紙

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- ・開放病床に係る病室(5床)
- ・高度医療機器(CT、MR、RI)

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名:

職種: 医療社会事業部 地域医療連携課長

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
様式第14-4別紙				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

様式第15-1別紙

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	71回
(2) (1) の合計研修者数	1,611人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ㊟・無

イ 研修委員会設置の有無 ㊟・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第一会議室	45.92㎡	<p>(主な設備)</p> <p>教育用機器等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクター 5台 (可搬式4台、固定式1台)、パソコン4台、プレゼンテーション用レーザーポインター 2本、スライドスクリーン4機 (可搬式2機、固定式2機)、音響設備 研修室用 (有線マイク1本、ワイヤマイク2本、ピンマイク1本) ・ ホワイトボード (壁掛2台、移動式2台) ・ ブルーレイプレイヤー 1台、TV65インチ (壁掛) 1台 デジタル1眼レフカメラ 1台、ビデオカメラ 1台、カメラ三脚 1台、スピーカー 1台 ・ 内視鏡手術シミュレーター ・ 大腸内視鏡トレーニングモデル ・ 気道管理トレーナー ・ 中心静脈挿入シミュレーター ・ 胃内視鏡シミュレーター ・ 縫合手技トレーニングセット ・ ALSシミュレーター ・ 腎部筋注模型 ・ 採血静脈シミュレーター (シンジョーⅡ) ・ 手背静脈注射シミュレーター ・ 静脈注射パッド (けっかんくん) ・ 上腕部筋肉内・皮下注射シミュレーター (きんちゆうくん) ・ 神経・血管腕モデル ・ フィジカルアセスメントモデル (Physiko) ・ ナーシングアン ・ 男性導尿・浣腸シミュレーター ・ レサシアン ・ 教育用DVDセット (フィジカルアセスメント) ・ 腹膜透析シミュレーター ・ 人工肛門シミュレーター ・ 受胎調整指導模型 ・ モデル人形 ・ 介護実習用モデル人形 ・ 沐浴人形 ・ 乳房マッサージモデルⅢ ・ 妊娠シミュレーター普及版 ・ 女性尿道浣腸モデル (TA-I) ・ 女性尿道浣腸モデル (Ⅱ型)
第二会議室	14.00㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴診器 ・ 打診器
研修室1	65.07㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・ パイプイス63脚
研修室2	23.68㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット環境

図書室	94.8m ²	<p>(主な設備)</p> <p>文献検索用パソコン2台 (Windows 1台、Mac 1台)</p> <p>文献検索 (医学中央雑誌Web、PubMed)</p> <p>電子ジャーナル (メディカルオンライン、MEDLINE with Full Text)</p>
-----	--------------------	--

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	総務課長
管理担当者氏名	各部長 又は 各課長

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテに係る記録は医療情報課で保管。各所管部又は所管科で保存し、長期保存を必要とする文書については、一定期間経過後に医事課で保管する。	診療科ごとに、「鳥取赤十字病院公用文書分類基準及び保管期間」に基づき保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携課	・「開放病床利用関係書類綴」にて分類 ・「画像診断オープンシステム取扱状況」にて分類
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	企画教育課	・院内報告書様式を基に台帳作成して分類
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携課	・「紹介、逆紹介患者名簿」にて分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院長 西土井 英昭
閲覧担当者氏名	総務課長
閲覧の求めに応じる場所	鳥取赤十字病院 総務課
閲覧の手続の概要	
・ 診療に関する閲覧については医事課が対応。管理・運営については総務課が対応する。	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	/
委員会における議論の概要		
様式第18別紙		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・ <u>その他</u> (患者総合相談窓口)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	・ MSW ・ 医療社会事業課入退院支援係看護師
患者相談件数 様式第19 別表1 : 11,001件 平成27年度相談件数 (MSW取り扱い分) 様式第19 別表2 : 2,735件 平成27年度受診相談集計 (MSW以外)	13,736件
患者相談の概要	
(様式第19 別紙)	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期。 (財) 日本医療機能評価機構 評価項目：一般病院2 3rdG:Ver1.0 2014年10月1日交付	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 医療者向け講演会の開催 地域連携懇話会、認定看護師公開講座、消化器疾患の夕べ 等 季刊誌の発行 連携室だより、院内報 等	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 医療社会事業部医療社会事業課を設置し、退院後安心して地域生活の継続が出来るように院内・院外と連携して退院先調整等の支援を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 脳卒中地域連携パスを運用、がんパスを運用、大腿骨頸部・転子部骨折パスを運用 (様式第20-4別紙) ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 鳥取県保健医療計画の東部県域における脳卒中、随胎骨頸部・転子部骨折の医療連携体制を基に上記パスを活用し普及に努めている。	

様式第13 別紙

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師				
2	医師				
3	医師				
4	医師				
5	医師				
6	医師				
7	医師				
8	医師				
9	医師				
10	医師				
11	医師				
12	医師				
13	医師				
14	医師				
15	医師				
16	医師				
17	医師				
18	医師				
19	医師				
20	医師				
21	医師				
22	医師				
23	医師				
24	医師				
25	医師				
26	医師				
27	医師				
28	医師				
29	医師				
30	医師				
31	医師				
32	医師				
33	医師				
34	医師				
35	医師				
36	医師				
37	医師				
38	医師				
39	医師				
40	医師				
41	医師				
42	医師				
43	医師				
44	医師				
45	医師				
46	医師				

平成27年度 オープンベッド利用状況 (平成27年4月～平成28年3月)

1回の期間を原則として30日としているが、担当医と患者との話し合いで延長可能

入院日	開放病床利用開始日	登録医	病棟	主治医	退院日	開放病床利用終了日	開放病床在院日数	登録医訪問日数	備考
1 H27.05.27	H27.05.27	わたなべクリニック	C2	泌尿器科 小野	H27.06.08	H27.06.08	13	※	腹腔鏡下腎尿管急性腫瘍手術(H27.5.28)
2 H27.06.16	H27.06.16	栄町クリニック	B8	内科 松浦	H27.07.29	H27.07.29	44	6	
3 H27.07.06	H27.07.06	栄町クリニック	B8	循環器科 松浦	H27.08.20	H27.08.20	46	7	
4 H27.07.10	H27.07.10	栄町クリニック	B7	神経内科 松浦	H27.08.07	H27.08.07	29	4	
5 H27.07.17	H27.07.17	栄町クリニック	C2	内科 松浦	H27.07.24	H27.07.24	4	1	
6 H27.07.22	H27.07.22	わたなべクリニック	C2	泌尿器科 小野	H27.08.29	H27.08.29	39	※	腹腔鏡下腎尿管急性腫瘍手術(H27.7.23)
7 H27.8.12	H27.08.13	栄町クリニック	B8	循環器科 松浦	H27.10.27	H27.10.27	76	10	
8 H27.08.24	H27.08.26	栄町クリニック	B8	内科 松浦	H27.10.26	H27.10.26	62	9	
9 H27.09.02	H27.09.02	栄町クリニック	B8	循環器科 松浦	H27.10.16	H27.10.16	45	6	
10 H27.09.04	H27.09.08	栄町クリニック	B7	神経内科 松浦	H27.09.21	H27.09.21	14	2	9/4～9/8まで神経内科・9/9～9/21まで内科(※転科)
11 H27.11.02	H27.11.02	栄町クリニック	B7	神経内科 松浦	H27.11.15	H27.11.15	14	2	
12 H27.11.06	H27.11.06	栄町クリニック	B8	内科 松浦	H27.11.27	H27.11.27	22	3	
13 H27.11.06	H27.11.09	栄町クリニック	C5	内科 松浦	H28.03.01	H28.01.31	84	12	
14 H27.11.09	H27.11.09	栄町クリニック	C3	内科 松浦	H27.11.20	H27.11.20	12	2	
15 H27.12.08	H27.12.08	栄町クリニック	B8	循環器科 松浦	H28.01.09	H28.01.09	33	5	
16 H28.01.09	H28.01.12	栄町クリニック	B6	循環器科 松浦	H28.02.17	H28.02.17	37	5	
17 H28.03.22	H28.03.23	栄町クリニック	B7	神経内科 松浦			9	1	
18									
19									

○開放病床在院日数・登録医訪問日数は開放病床利用開始日より平成28年3月31日まで算定

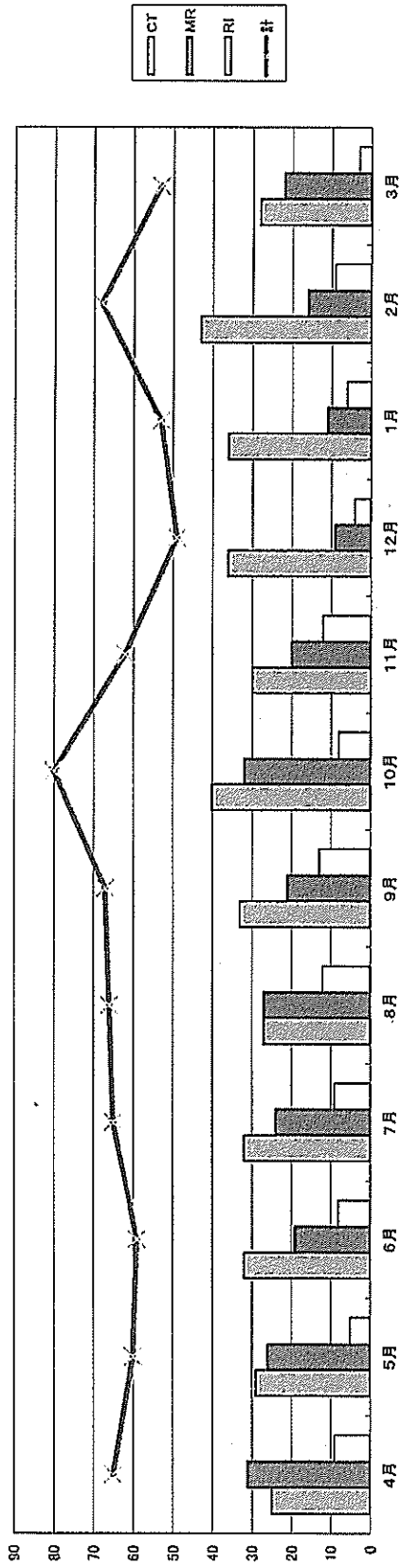
※手術室の共同利用

☆利用数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
入院患者数	0	1	2	5	5	4	3	4	2	3	1	1	31	2.6
新開放病床利用患者数(再掲)	0	1	1	4	2	2	0	4	1	1	0	1	17	1.4
入院延べ日数	0	5	23	91	81	103	69	70	55	60	17	9	583	48.6
開放病床利用率(%)	0	3.2	15.3	58.7	52.3	68.7	44.5	46.7	35.5	38.7	11.7	5.8		31.9

画像診断オープンシステム取扱い件数

平成27	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT	25	29	32	32	27	33	40	30	36	36	43	28	391
MR	31	26	19	24	27	21	32	20	9	11	16	22	258
RI	9	5	8	9	12	13	8	12	4	6	9	3	98
	65	60	59	65	66	67	80	62	49	53	68	53	747



登録医一覧

H28.3.31現在

歯科医師

医師氏名	認定日	登録医師氏名	認定日	医師氏名	認定日	登録医師氏名	認定日	医師氏名	認定日	登録医師氏名	認定日	医師氏名	認定日	登録医師氏名	認定日
1	H19.08.31	安部 隆明	H19.08.31	松田 公紀	H19.08.31	松田 公紀	H19.08.31	松田 公紀	H19.08.31	松田 公紀	H19.08.31	松田 公紀	H19.08.31	松田 公紀	H19.08.31
2	H19.08.31	池田 茂之	H19.08.31	池田 裕之	H19.08.31	池田 裕之	H19.08.31	池田 裕之	H19.08.31	池田 裕之	H19.08.31	池田 裕之	H19.08.31	池田 裕之	H19.08.31
3	H19.08.12	大津 千晴	H19.08.12	水本 浩之	H19.08.31	水本 浩之	H19.08.31	水本 浩之	H19.08.31	水本 浩之	H19.08.31	水本 浩之	H19.08.31	水本 浩之	H19.08.31
4	H19.08.23	福中 孝幸	H19.08.23	宮本 二郎	H19.08.31	宮本 二郎	H19.08.31	宮本 二郎	H19.08.31	宮本 二郎	H19.08.31	宮本 二郎	H19.08.31	宮本 二郎	H19.08.31
5	H19.08.19	乾 啓貴	H19.08.19	元田 敏也	H19.08.31	元田 敏也	H19.08.31	元田 敏也	H19.08.31	元田 敏也	H19.08.31	元田 敏也	H19.08.31	元田 敏也	H19.08.31
6	H19.08.31	入江 泰一	H19.08.31	山根 崇樹	H19.08.31	山根 崇樹	H19.08.31	山根 崇樹	H19.08.31	山根 崇樹	H19.08.31	山根 崇樹	H19.08.31	山根 崇樹	H19.08.31
7	H19.10.09	上田 武郎	H19.10.09	山本 靖司	H19.08.31	山本 靖司	H19.08.31	山本 靖司	H19.08.31	山本 靖司	H19.08.31	山本 靖司	H19.08.31	山本 靖司	H19.08.31
8	H19.08.31	加藤 泰之	H19.08.31	横浜 基介	H19.08.31	横浜 基介	H19.08.31	横浜 基介	H19.08.31	横浜 基介	H19.08.31	横浜 基介	H19.08.31	横浜 基介	H19.08.31
9	H19.08.31	北野 文昭	H19.08.31	横浜 基子	H19.08.31	横浜 基子	H19.08.31	横浜 基子	H19.08.31	横浜 基子	H19.08.31	横浜 基子	H19.08.31	横浜 基子	H19.08.31
10	H19.08.31	木村 寛	H19.08.31	吉田 真人	H19.08.31	吉田 真人	H19.08.31	吉田 真人	H19.08.31	吉田 真人	H19.08.31	吉田 真人	H19.08.31	吉田 真人	H19.08.31
11	H19.08.31	小林 泰一	H19.08.31	松坂 紀武	H19.08.31	松坂 紀武	H19.08.31	松坂 紀武	H19.08.31	松坂 紀武	H19.08.31	松坂 紀武	H19.08.31	松坂 紀武	H19.08.31
12	H19.08.31	西垣 隆志	H19.08.31	橋本 正	H19.08.31	橋本 正	H19.08.31	橋本 正	H19.08.31	橋本 正	H19.08.31	橋本 正	H19.08.31	橋本 正	H19.08.31
13	H19.08.31	松浦 翠寿	H19.08.31	津島 昌広	H19.08.31	津島 昌広	H19.08.31	津島 昌広	H19.08.31	津島 昌広	H19.08.31	津島 昌広	H19.08.31	津島 昌広	H19.08.31
14	H19.08.31	松浦 慶子	H19.08.31	石井 裕子	H19.12.18	石井 裕子	H19.12.18	石井 裕子	H19.12.18	石井 裕子	H19.12.18	石井 裕子	H19.12.18	石井 裕子	H19.12.18
15	H19.08.31	奥戸 光徳	H19.08.31	池田 光之	H20.10.15	池田 光之	H20.10.15	池田 光之	H20.10.15	池田 光之	H20.10.15	池田 光之	H20.10.15	池田 光之	H20.10.15
16	H19.08.31	奥戸 光徳	H19.08.31	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21
17	H19.08.31	高須 寛行	H19.08.31	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21	中井 正二	H20.10.21
18	H19.08.31	竹内 達夫	H19.08.31	下田 貴	H20.11.17	下田 貴	H20.11.17	下田 貴	H20.11.17	下田 貴	H20.11.17	下田 貴	H20.11.17	下田 貴	H20.11.17
19	H19.08.14	竹内 一昭	H19.08.14	山崎 勇	H20.05.19	山崎 勇	H20.05.19	山崎 勇	H20.05.19	山崎 勇	H20.05.19	山崎 勇	H20.05.19	山崎 勇	H20.05.19
20	H19.10.22	田中 明雄	H19.10.22	森 英徳	H21.05.19	森 英徳	H21.05.19	森 英徳	H21.05.19	森 英徳	H21.05.19	森 英徳	H21.05.19	森 英徳	H21.05.19
21	H19.08.31	谷口 昌弘	H19.08.31	藤原 弘明	H22.02.02	藤原 弘明	H22.02.02	藤原 弘明	H22.02.02	藤原 弘明	H22.02.02	藤原 弘明	H22.02.02	藤原 弘明	H22.02.02
22	H19.08.20	田村 公平	H19.08.20	竹内 裕一	H22.02.02	竹内 裕一	H22.02.02	竹内 裕一	H22.02.02	竹内 裕一	H22.02.02	竹内 裕一	H22.02.02	竹内 裕一	H22.02.02
23	H19.08.06	中島 公和	H19.08.06	堀内 正人	H22.04.08	堀内 正人	H22.04.08	堀内 正人	H22.04.08	堀内 正人	H22.04.08	堀内 正人	H22.04.08	堀内 正人	H22.04.08
24	H19.08.31	織田 隆平	H19.08.31	藤川 幸仁	H22.05.18	藤川 幸仁	H22.05.18	藤川 幸仁	H22.05.18	藤川 幸仁	H22.05.18	藤川 幸仁	H22.05.18	藤川 幸仁	H22.05.18
25	H19.08.31	西浦 清一	H19.08.31	本郷 一郎	H22.05.18	本郷 一郎	H22.05.18	本郷 一郎	H22.05.18	本郷 一郎	H22.05.18	本郷 一郎	H22.05.18	本郷 一郎	H22.05.18
26	H19.08.31	西島 島壽	H19.08.31	清水 雅彦	H22.07.20	清水 雅彦	H22.07.20	清水 雅彦	H22.07.20	清水 雅彦	H22.07.20	清水 雅彦	H22.07.20	清水 雅彦	H22.07.20
27	H19.08.31	石谷 賢男	H19.08.31	谷口 靖子	H22.08.10	谷口 靖子	H22.08.10	谷口 靖子	H22.08.10	谷口 靖子	H22.08.10	谷口 靖子	H22.08.10	谷口 靖子	H22.08.10
28	H19.08.01	野瀬 史博	H19.08.01	山本 尚	H22.09.02	山本 尚	H22.09.02	山本 尚	H22.09.02	山本 尚	H22.09.02	山本 尚	H22.09.02	山本 尚	H22.09.02
29	H19.08.31	徳永 英	H19.08.31	米田 一彦	H22.09.21	米田 一彦	H22.09.21	米田 一彦	H22.09.21	米田 一彦	H22.09.21	米田 一彦	H22.09.21	米田 一彦	H22.09.21
30	H19.08.31	徳永 英	H19.08.31	北条 知巳	H23.01.13	北条 知巳	H23.01.13	北条 知巳	H23.01.13	北条 知巳	H23.01.13	北条 知巳	H23.01.13	北条 知巳	H23.01.13
31	H19.08.31	徳永 英	H19.08.31	幸岡 均	H23.10.18	幸岡 均	H23.10.18	幸岡 均	H23.10.18	幸岡 均	H23.10.18	幸岡 均	H23.10.18	幸岡 均	H23.10.18
32	H19.08.31	左馬 義人	H19.08.31	庄司 寛	H23.10.18	庄司 寛	H23.10.18	庄司 寛	H23.10.18	庄司 寛	H23.10.18	庄司 寛	H23.10.18	庄司 寛	H23.10.18
33	H19.10.11	田中 敦子	H19.10.11	いししろ 博	H23.10.18	いししろ 博	H23.10.18	いししろ 博	H23.10.18	いししろ 博	H23.10.18	いししろ 博	H23.10.18	いししろ 博	H23.10.18
34	H19.08.31	早瀬 啓	H19.08.31	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02
35	H19.08.31	早瀬 啓	H19.08.31	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02	藤 英彰	H24.04.02
36	H19.08.14	徳永 康作	H19.08.14	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01
37	H19.08.18	藤田 直樹	H19.08.18	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01
38	H19.10.02	藤田 寛治	H19.10.02	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01
39	H19.08.31	松岡 功	H19.08.31	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01
40	H19.08.31	松岡 昌子	H19.08.31	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01	藤田 直樹	H24.06.01

医師数 35 機関

医師数 17 機関

医師数 18 機関

医師数 34 機関

医師数 18 機関

医師数 17 機関

医師数 18 機関

医師数 34 機関

医師数 104 機関

医師数 104 機関

医師数 104 機関

医師数 117 名

医師数 117 名

医師数 117 名

平成27年度 鳥取赤十字病院公開研修(平成27年4月～平成28年3月)

No.	日時	実施主体	内容(タイトル)	参加人数	院内	院外
1	2015/4/10	NST朝の勉強会	主観的包括的評価(SGA)	24	24	0
2	2015/4/17	NST朝の勉強会	主観的包括的評価(SGA)	25	25	0
3	2015/4/24	NST朝の勉強会	客観的栄養評価(ODA)と栄養必要量の算出	20	20	0
4	2015/5/1	NST朝の勉強会	客観的栄養評価(ODA)と栄養必要量の算出	19	19	0
5	2015/5/8	NST朝の勉強会	客観的栄養評価(ODA)と栄養必要量の算出「輸液とは」	18	18	0
6	2015/5/15	NST朝の勉強会	輸液とは「水電解質の成り立ち」	17	17	0
7	2015/5/22	NST朝の勉強会	水電解質の成り立ち	12	12	0
8	2015/5/29	NST朝の勉強会	水電解質の成り立ち	13	13	0
9	2015/6/5	NST朝の勉強会	末梢静脈栄養法	13	12	1
10	2015/6/12	NST朝の勉強会	中心静脈栄養法	15	14	1
11	2015/6/19	NST朝の勉強会	中心静脈栄養法	10	10	0
12	2015/6/26	NST朝の勉強会	中心静脈栄養法	9	9	0
13	2015/7/3	NST朝の勉強会	中心静脈栄養法、経腸栄養法	12	12	0
14	2015/7/10	NST朝の勉強会	中心静脈栄養法、経腸栄養法	10	10	0
15	2015/7/17	NST朝の勉強会	中心静脈栄養法	12	12	0
16	2015/7/24	NST朝の勉強会	中心静脈栄養法	11	11	0
17	2015/7/31	NST朝の勉強会	栄養の基礎	13	13	0
18	2015/8/6	NST朝の勉強会	半固形化栄養療法の新潮流	7	7	0
19	2015/8/7	NST朝の勉強会	栄養の基礎:脂質	8	8	0
20	2015/8/14	NST朝の勉強会	主な輸液・栄養製品	14	14	0
21	2015/8/21	NST朝の勉強会	「糖・塩平衡」	11	11	0
22	2015/8/28	NST朝の勉強会	「主な輸液・栄養製品」	10	10	0
23	2015/9/11	NST朝の勉強会	「食道癌患者の術前栄養管理」	6	6	0
24	2015/9/18	NST朝の勉強会	「クロールン病患者の栄養療法」	8	8	0
25	2015/9/25	NST朝の勉強会	「慢性閉塞性肺疾患患者の栄養療法」	7	7	0
26	2015/10/2	NST朝の勉強会	「COPD患者の栄養管理、肝臓変患者の栄養療法」	7	7	0
27	2015/10/3	NST朝の勉強会	平成27年度NST短期集中研修	36	10	26
28	2015/10/9	NST朝の勉強会	「肝臓変患者の栄養療法」	12	12	0
29	2015/10/16	NST朝の勉強会	「褥瘡患者の栄養療法」	9	9	0
30	2015/10/23	NST朝の勉強会	「褥瘡患者の栄養療法」	10	10	0
31	2015/10/30	NST朝の勉強会	「タンピング症候群患者の栄養療法」	10	10	0
32	2015/11/6	NST朝の勉強会	「脳血管障害を併発したII型糖尿病患者の栄養療法」	7	7	0
33	2015/11/13	NST朝の勉強会	「脳血管障害を併発したII型糖尿病患者の栄養療法」	10	10	0
34	2015/11/20	NST朝の勉強会	「術前化学療法を施行する胃癌患者の栄養管理」	9	9	0
35	2015/11/27	NST朝の勉強会	「術前化学療法を施行する胃癌患者の栄養管理」	8	8	0
36	2015/12/4	NST朝の勉強会	「短腸症候群(SBS)患者の栄養療法」	6	6	0
37	2015/12/18	NST朝の勉強会	「多発性外傷患者の栄養管理」	10	10	0
38	2016/1/15	NST朝の勉強会	「多発性外傷患者の栄養管理」	8	8	0
39	2016/1/22	NST朝の勉強会	「多発性外傷患者の栄養管理」	11	11	0
40	2016/1/29	NST朝の勉強会	「認知症の寝たきり高齢者の栄養管理」	7	7	0
41	2016/2/5	NST朝の勉強会	「認知症の寝たきり高齢者の栄養管理」	9	9	0

平成27年度 鳥取赤十字病院公開研修(平成27年4月～平成28年3月)

No.	日時	実施主体	内容(タイトル)	参加人数	院内	院外
42	2016/2/12	NST朝の勉強会	経腸栄養管理における下痢対策	8	8	0
43	2016/2/19	NST朝の勉強会	「侵襲下の高血糖患者の栄養管理」	10	10	0
44	2016/2/26	NST朝の勉強会	「侵襲下の高血糖患者の栄養管理」	7	7	0
45	2016/3/4	NST朝の勉強会	「TNTC栄養療法実践のための症例検討」	6	6	0
46	2016/3/11	NST朝の勉強会	「摂食・嚥下障害患者の栄養管理」	7	7	0
47	2016/3/12	NST臨床実習研修修了式	「症例報告、ミニレクチャー」	27	4	23
48	2016/3/18	NST朝の勉強会	「小児の栄養管理」	8	8	0
49	2016/3/25	NST朝の勉強会	「急性腎不全患者の栄養管理」	5	5	0
50	2015/9/17	医療社会事業部	第14回鳥取赤十字病院地域連携懇話会「慢性腎臓病(CKD)」	116	66	50
51	2016/2/20	医療社会事業部	第6回鳥取赤十字病院 災害医療フォーラム	104	31	73
52	2016/3/10	医療社会事業部	平成27年度鳥取赤十字病院地域連携懇話会「ロコモティブ症候群」	97	56	41
53	2015/5/21	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「糖尿病看護:フットケア」	49	26	23
54	2015/6/23	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「認知症看護」	91	14	77
55	2015/8/20	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「食事介助の基本」	91	17	74
56	2015/9/16	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「標準予防策・手指衛生を中心に」	43	3	40
57	2015/10/16	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「褥瘡予防ケア-ポジショニングの」	53	2	51
58	2015/11/16	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「抗がん剤の主な副作用について」	24	14	10
59	2015/12/1	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「脳卒中患者の観察の仕方」	34	29	5
60	2015/12/18	看護部	平成27年度鳥取赤十字病院認定看護師公開講座「エンゼルケア」	58	10	48
61	2015/4/9	診療部	鳥取口腔疾患研究会(4月例会):「肺癌より阻癌筋線への転移性腫瘍の1例」	10	3	7
62	2015/5/21	診療部	鳥取口腔疾患研究会(5月例会):「OSASについて」	15	3	12
63	2015/6/11	診療部	鳥取口腔疾患研究会(6月例会):「内科保険診療における問題点と留意点」	17	3	14
64	2015/7/9	診療部	鳥取口腔疾患研究会(7月例会):「舌表面の汚れはアセトアルデヒドの発生源」	16	3	13
65	2015/9/10	診療部	鳥取口腔疾患研究会(9月例会):「アマルガム除去時の水銀蒸発の毒性」	18	2	16
66	2015/10/8	診療部	鳥取口腔疾患研究会(10月例会):「抗凝固剤の固定化」	14	3	11
67	2015/11/12	診療部	鳥取口腔疾患研究会(11月例会):「ハーキソン病患者の口腔管理について」	12	3	9
68	2016/1/21	診療部	鳥取口腔疾患研究会(1月例会):「矯正治療における口蓋アンカーの埋入」	14	2	12
69	2016/2/18	診療部	鳥取口腔疾患研究会(2月例会):「歯科用金属アレルギーについて」	14	2	12
70	2015/7/25	糖尿病教育推進委員会	糖尿病教育基礎講座「糖尿病とは」	45	41	4
71	2015/11/7	糖尿病教育推進委員会	平成27年度日赤糖尿病講演会「実は深い関係!?糖尿病と歯周病」	105	105	0

様式第15-3 別紙

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
	医師	外科	院長		
	医師	循環器科	副院長 兼医療技術部長 兼臨床工学技術課長 兼医療安全推進室長		
	医師	内科	副院長 兼第一内科部長 兼教育研修推進室		プログラム責任者
	医師	内科	第四内科部長 兼検査部長		
	医師	内科	内科副部長		
	医師	循環器科	第二内科部長		
	医師	循環器科	循環器科部長 兼第三内科部長		
	医師	神経内科	神経内科部長		
	医師	外科	第二外科部長		
	医師	外科	第三外科部長		
	医師	外科	第一外科部長 兼健診部長		
	医師	外科	医療社会事業部長 兼外科副部長 兼医療社会事業課		
	医師	整形外科	第二整形外科部長		
	医師	整形外科	整形外科副部長		
	医師	小児科	第一小児科部長		
	医師	小児科	第二小児科部長		
	医師	放射線科	放射線科部長		
	医師	産婦人科	第一産婦人科部長		
	医師	麻酔科	第一麻酔科部長		
	医師	麻酔科	第二麻酔科部長		
	医師	麻酔科	麻酔科副部長		
	医師	病理診断科	病理診断科部長		
	医師	心臓血管外科	心臓血管外科部長		
	医師	内科	内科副部長		
	医師	産婦人科	産婦人科副部長		
	医師	内科	内科副部長 兼教育研修推進室		

様式第18 別紙

**平成27年度第1回鳥取赤十字病院
地域医療支援病院運営協議会**

開催日時：平成27年6月24日（水）16：00～

開催場所：鳥取赤十字病院 第1会議室

次 第

1. 委員長挨拶

2. 新任委員紹介

- ・ 鳥取県東部広域行政管理組合消防局

警防課長 藤原 博志 委員

- ・ 鳥取市自治連合会

監 事 土橋 周美 委員

- ・ 鳥取赤十字病院

副院長 小坂 博基 委員

- ・ 鳥取赤十字病院

副院長 田中 久雄 委員

3. 議 題

(1) 業務報告 (別紙)

- 1) 紹介率及び逆紹介率
- 2) 共同利用
- 3) 救急医療の提供
- 4) 研修会等の開催

(2) 病院見学

救護活動の資機材見学

(3) その他

以 上

**平成 27 年度第 2 回鳥取赤十字病院
地域医療支援病院運営協議会**

開催日時：平成 27 年 9 月 30 日（水） 16：00～

開催場所：鳥取赤十字病院 第 1 会議室

次 第

1. 委員長挨拶

2. 議 題

(1) 業務報告 (別紙)

- 1) 紹介率及び逆紹介率
- 2) 共同利用
- 3) 救急医療の提供
- 4) 研修会等の開催

(2) 『第14回 鳥取赤十字病院 地域連携懇話会』の報告

日 時：平成27年9月17日 (木)

場 所：とりぎん文化会館 (第1会議室)

テーマ：慢性腎臓病 (CKD) ～安心して在宅療養をすすめるために～

(3) 『鳥取赤十字病院100周年を迎えて』

院長 西土井 英昭

以 上

**平成 27 年度第 3 回鳥取赤十字病院
地域医療支援病院運営協議会**

開催日時：平成 27 年 12 月 24 日（木）16：00～

開催場所：鳥取赤十字病院 第 1 会議室

次 第

1. 委員長挨拶

2. 議 題

(1) 業務報告 (別紙)

- 1) 紹介率及び逆紹介率
- 2) 共同利用
- 3) 救急医療の提供
- 4) 研修会等の開催

(2) 『第6回 鳥取赤十字病院 災害医療フォーラム』の開催について (調整中)

日 時：平成28年2月20日 (土)

場 所：鳥取市文化ホール

テーマ：《イベント災害》

講師 ・武蔵野赤十字病院 勝見 敦 先生
・鳥取県警 河津 正 先生
・(調 整 中)

(3) 病院見学

新棟のご案内 (内覧会と同コース)

以 上

**平成 27 年度第 4 回鳥取赤十字病院
地域医療支援病院運営協議会**

開催日時：平成 28 年 3 月 23 日（水） 16：00～

開催場所：鳥取赤十字病院 第 1 会議室

次 第

1. 委員長挨拶

2. 議 題

(1) 業務報告 (別紙)

- 1) 紹介率及び逆紹介率
- 2) 共同利用
- 3) 救急医療の提供
- 4) 研修会等の開催

(2) 『第6回 鳥取赤十字病院 災害医療フォーラム』の報告

(3) 『第15回 鳥取赤十字病院 地域連携懇話会』の報告

(4) その他

以 上

様式第19 別表1

病院名 鳥取赤十字病院

担当者職・氏名 企画教育課

(平成28年3月31日現在)

15. 相談援助関係の実施状況

- ・同調査については、平成27年度中に院内の医療社会事業部等で行われた相談援助関係の内容及び件数について入力のこと。
- ・同調査の記載については、別紙を参考に記載することとし、件数については、同一ケースに対して同一援助が繰り返し行われる場合は、延件数として全てを計上すること。但し、1日の中に同一ケースに対し同一援助が何回繰り返されても、それは1日1件として計上すること。

(1)社会福祉士配置数

実人数(常勤職員数)	3
実人数(非常勤職員数)	1
常勤換算合計	4.0

(5)援助方法

		方法	延件数		
(2)ケース人数	区分	面接	本人	1,701	
			家族、親戚縁者	2,798	
	年度実人数	人数	電話	本人	61
				家族、親戚縁者	2,120
	年度延人数	人数	訪問	家庭訪問	5
				その他	3
	区分	実人数	同行・同伴・代行	248	
	新規ケース(入院)	1,553	文書(電子メール、FAX含む)	1,412	
	新規ケース(外来)	152	情報収集	8,264	
	終了ケース	1,637	院内協議・カンファレンス	16,676	
		院外協議・カンファレンス	8,468		
		合同カンファレンス	112		
		合計	41,868		

(3)新規ケースの紹介経路

区分	実件数
医師	397
理学療法師、作業療法士、言語聴覚士等	17
保健師、助産師、看護師、准看護師	698
その他院内職員	59
本人	68
家族・親戚縁者	74
院外関係機関	251
近隣者・知人	11
ソーシャルワーカー	62
合計	1,637

(6)相談援助調整内容

内容	延件数
家族関係に関する事	123
在宅介護・地域生活に関する事	2,586
療養生活に関する事	136
経済的問題に関する事	394
就労・職場環境に関する事	1
教育環境・就学に関する事	5
虐待・暴力・人権に関する事	4
受診・受療に関する事	641
転院に関する事(医療機関)	5,447
他施設利用に関する事(医療機関以外の全ての施設)	2,200
心理・情緒的問題に関する事	13
他福祉関係法利用に関する事	1,793
その他(件数)	6
合計	13,349

(4)問題実数

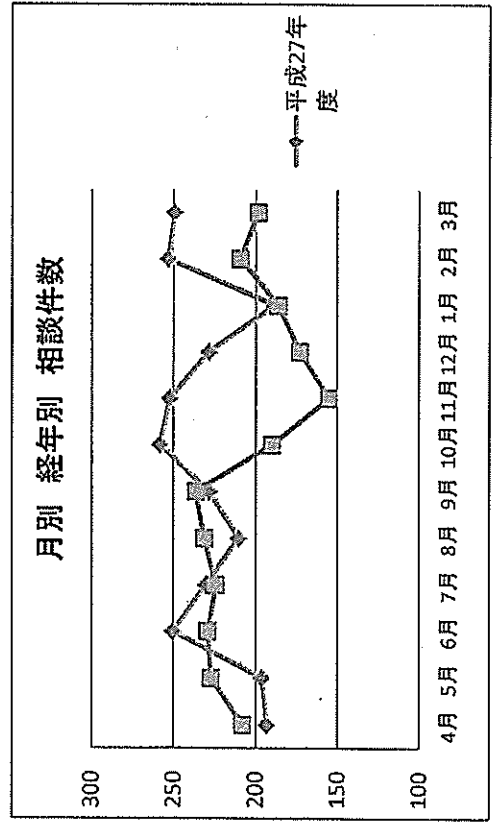
区分	実件数
家族関係及び家族が抱える問題	102
介護・療養生活上の問題	4,861
経済に関する問題	404
日常生活上の問題	24
就労・職場の問題	0
教育の問題	5
医療の確保に関する問題	5,955
人権に関わる問題	3
心理・情緒的問題	1
制度活用に関する問題	919
その他	5
合計	12,279

(7)介入の時期

区分	実人数
受診	48
外来継続	144
入院時	453
入院継続	275
退院時	715
その他(件数)	24
合計	1,659

平成27年度 受診相談集計

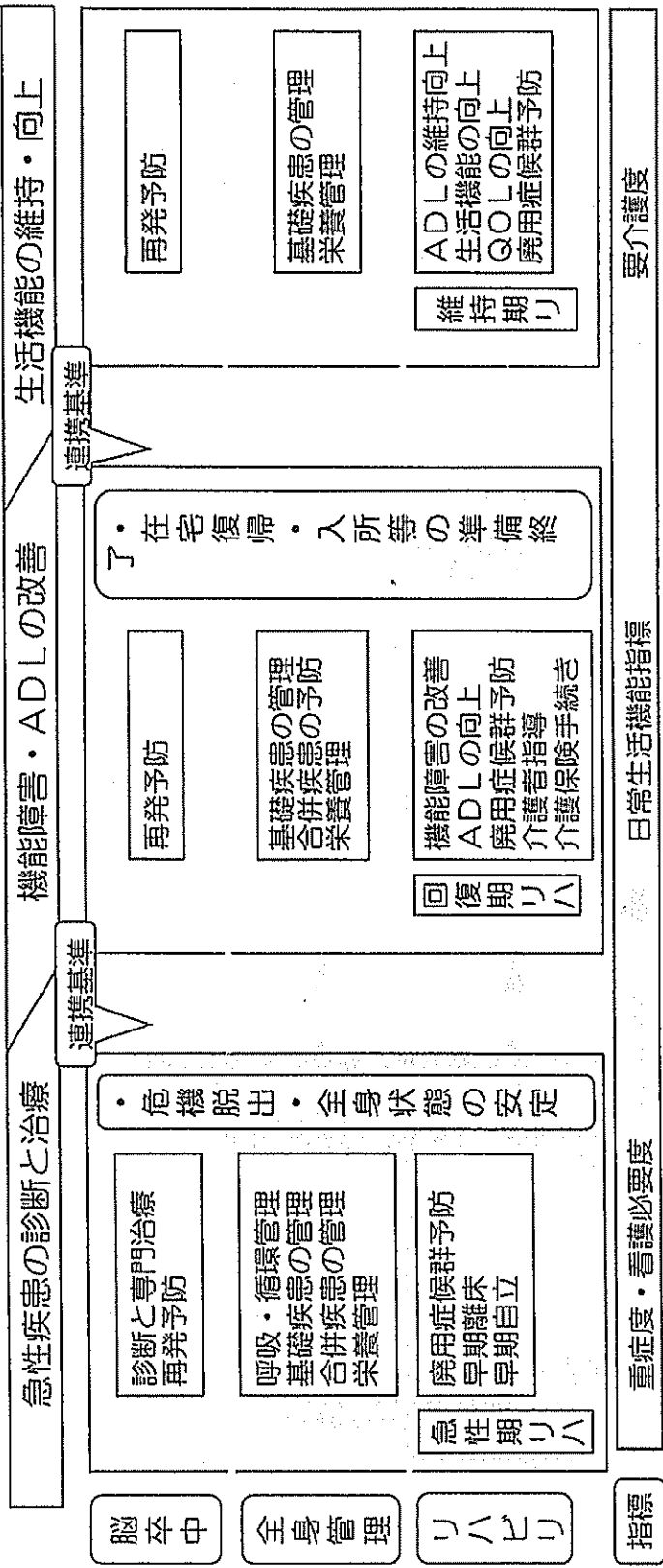
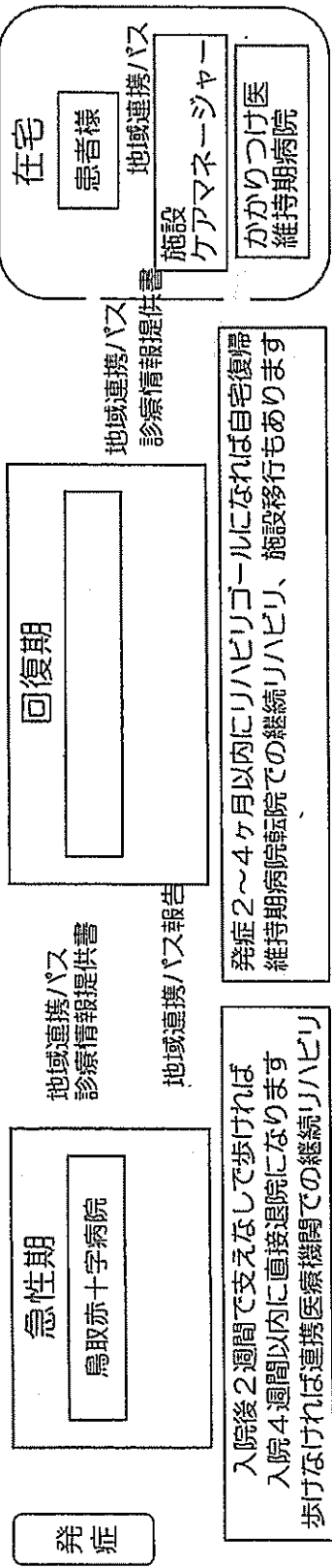
内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診相談	61	50	73	65	69	49	57	59	55	37	64	53	692
院内診療科案内	7	16	14	17	16	10	5	4	6	6	11	8	120
他院診療科案内	18	21	17	16	25	25	58	51	54	27	41	31	384
電話相談	2	13	14	13	4	17	5	9	9	6	7	10	109
その他	9	5	13	12	12	18	12	12	7	3	14	10	127
受診支援	24	16	27	24	21	19	24	21	26	26	25	34	287
車椅子搬送	22	15	29	20	18	29	29	32	12	17	24	30	277
受診案内・支援	30	32	38	39	28	40	54	40	39	41	45	43	469
新患受付支援	20	22	23	23	14	18	11	22	20	25	22	30	250
場所案内	0	4	0	0	1	3	3	2	0	0	0	0	16
書類代筆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各科外来	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
入院支援窓口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護相談外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域連携室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医事課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病棟部門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線技術課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栄養課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成27年度	193	196	250	230	210	228	258	252	228	188	253	249	2735
平成26年度	208	227	229	224	231	236	190	155	173	186	209	198	2466



脳卒中地域連携パス説明同意書

①当院は医療法第30条2項に基づき、下記の病院と連携して、共通の診療計画（脳卒中地域連携パス）に基づいて治療を実施しています。当院から転院先の病院に皆様の必要な医療情報が申し送られるとともに、転院先の医療機関からの医療情報が連携パス管理病院（急性期の病院）に送られます。
 ②この医療情報は匿名化して地域における脳卒中治療成績向上のために活用させていただきます。医療情報はすべて匿名化され、個人情報公表されることとは一切ありません。

患者氏名	ID
私は脳卒中地域連携パスの説明を受け、脳卒中地域連携パス使用に同意します。	
説明書	患者、家族署名
鳥取赤十字病院 説明日	年 月 日



担当者 殿 【患者様経過報告書兼依頼書】

病院: 鳥取赤十字病院

報告年月日

フリガナ 氏名 診断名 (部位) 初発/再発 アレルギ一 発症 発症前情報 発症場所: 担当ケアマネジャー: 事業所: 介護認定: ケアヘルプ: 食事: 排泄: 更衣: 入浴: 移動: 整容: 煙物: 階段: 手すり: 寝具: トイレ: 職業: かかりつけ医	性別 年齢 生年月日 生年月日 発症日 入院日 シヤントバルブ 品名 庄 回数 退院日() 血圧: 脈: 体温: SPO2: 併症 合併症 監視・抑制 問題行動 認知症 コミュニケーション ADL動作 食事 入浴 排泄 場所 排便 場所 移動 更衣 整容	転院時状態 ハイタル 合併症 監視・抑制 問題行動 認知症 コミュニケーション ADL動作 食事 入浴 排泄 場所 排便 場所 移動 更衣 整容	退院日() 脈: 体温: SPO2: 併症 合併症 監視・抑制 問題行動 認知症 コミュニケーション ADL動作 食事 入浴 排泄 場所 排便 場所 移動 更衣 整容	転院時情報 生活場所: 職安(色病): 後援予定医: かかりつけ医: かかりつけ薬局: 担当ケアマネジャー: ケ 訪問看護 回/週 ア 訪問介護 回/週 ラ 訪問リハ 回/週 ン 通所介護 回/週 通所リハ 回/週 福祉用具: 住宅改修箇所: キーパーソン: 担当MSW: 今後の希望:	現病歴と経過
傷病 浮腫 医療処置 輸液 経口 E N P E G	ステーション 体位分散薬具: 部位: 酸素: 吸引: 気管切開: 摂食嚥下評価 反復嚥液飲みテスト 改訂水飲みテスト フードテスト クレード VF VE コメント: ml Kcal ml ml ml	評価日 回数 プロファイル プロファイル クレード コメント: ml Kcal ml ml ml	TP Alb Hb BRS Rt Lt 注意機能障害 実行機能障害 記憶障害 失行 失認 半側空間無視 失語 構音 検査所見など	mg/dl g/dl mg/dl % mg/dl mg/dl /U /F /L /U /F /L /U /F /L 重症度: 重症度: 重症度: 重症度: 検査所見など	転院時薬物療法
かかりつけ歯科医 紹介医 栄養	部位: 体位交換: 種類: 酸素: 吸引: 気管切開: 摂食嚥下評価 反復嚥液飲みテスト 改訂水飲みテスト フードテスト クレード VF VE コメント: ml Kcal ml ml ml	評価日 回数 プロファイル プロファイル クレード コメント: ml Kcal ml ml ml	TP Alb Hb BRS Rt Lt 注意機能障害 実行機能障害 記憶障害 失行 失認 半側空間無視 失語 構音 検査所見など	mg/dl g/dl mg/dl % mg/dl mg/dl /U /F /L /U /F /L /U /F /L 重症度: 重症度: 重症度: 重症度: 検査所見など	転院時薬物療法

コメント

記入者	医師	記入者	看護師
記入者	理学療法士	記入者	作業療法士
記入者	言語聴覚士	記入者	MSW
記入者		記入者	

大腿骨頸部・転子部骨折で人工骨頭挿入術・骨接合術を受けられる方へ

今後の治療の流れを説明します

ID: _____ 様 説明日: _____ 説明医: _____

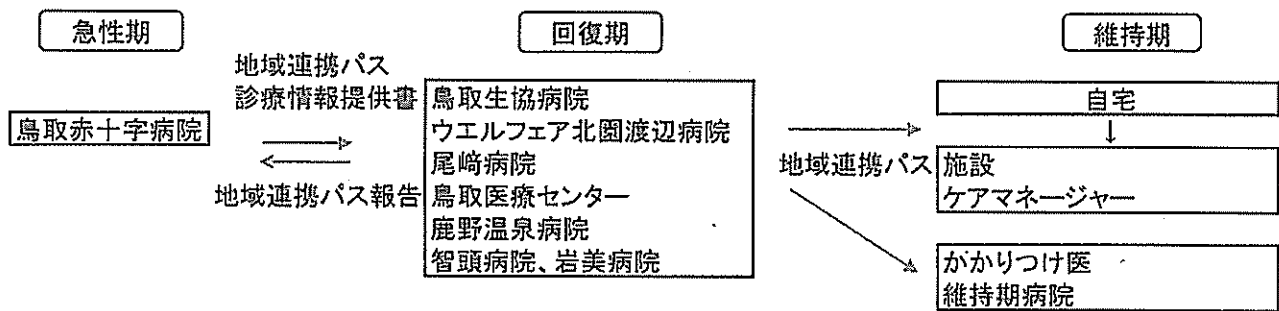
大腿骨頸部・転子部骨折は高齢者に多く、術前の歩行状態を取り戻すまでに長期にリハビリテーションを必要とするケースも少なくありません。

手術後は、自宅退院を目標に切れ間なくリハビリテーションを行います。

転院については病棟で相談をし、状態が安定すれば、その後連携医療機関に連絡を取ります。

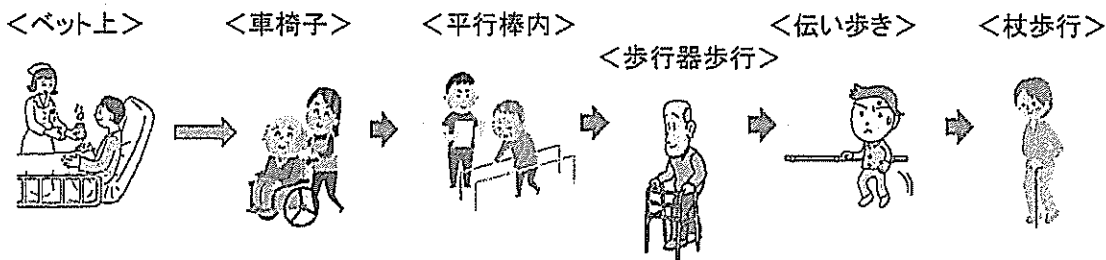
調整がついた時点で転院となり、連携医療機関では自宅退院を目標とし、引き続きリハビリテーション等を行っていただきます。

回復期の連携医療機関でのリハビリが終了したら、維持期となり希望される場所への退院となります。



リハビリは段階を追って徐々に進めていきますが、入院前の歩行や移動等の身体状況、手術の方法、その他の合併症により、個人差が見られます。

一般的にこの疾患は入院前の歩行や移動のレベルから1～2段階ほど低下するといわれています。



目安として、歩行が自立出来ていた人は、手術後2週間程度で歩行器歩行が一人で可能であった場合、術後4週間程度で杖歩行が可能となります。

本人又は家族サイン(_____) 説明者 (_____)

鳥取赤十字病院

大腿骨頸部・転子部骨折の手術を受けられる方へ

地域連携診療計画書（急性期：鳥取赤十字病院）

患者様氏名：

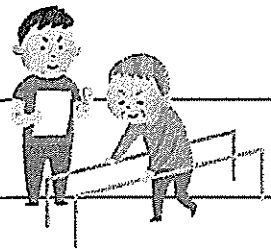

様 説明日：


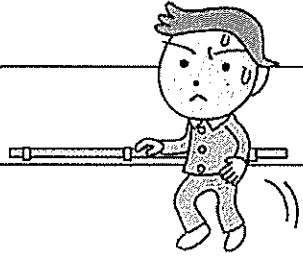
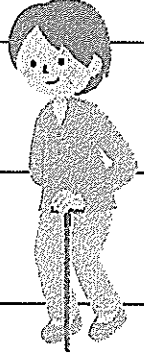
説明医：

月/日	/	/
経過(病日)	入院当日	手術前日
達成目標	<input type="checkbox"/> 病気のことが理解できる <input type="checkbox"/> 検査・治療の内容が理解できる <input type="checkbox"/> 痛みを伝えることができる	<input type="checkbox"/> 手術前の処置が理解できる
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査、心電図、レントゲンなどの検査を行いません ・床ずれを防止するために定期的に体の向きを変えます ・深部静脈血栓症を予防するために、特殊な靴下(弾性ストッキング)を歩行ができるようになるまで(術後2週間を目安)履きます ・牽引を行う場合もあります 	
薬・注射	<ul style="list-style-type: none"> ・内服中の薬を確認します ・薬によっては服用を中止します 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下(飲み込み)の状態を評価し、適切な食事を提供します ・既往歴のある方は(糖尿病・腎臓病・心臓病など)治療食になります ・手術前日に手術予定時間と絶飲食時間をお知らせします 	
安静	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みに応じてベット上での坐位が可能です ・ベット上安静です ・転倒などの危険がある場合には抑制(安全带)が必要なこともあります 	
清潔		<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴をします ・できない場合は身体拭きを行います
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・おしっこの管を入れることもあります ・オムツ・尿器を使用することもあります ・排便は差し込み便器、またはオムツを使用します 	・排便がない場合は浣腸を行います
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な範囲で足関節を動かす練習をしましょう ・筋力低下を予防するために下肢訓練を行いましょう ・骨折をしていない足、腕はなるべく動かしましょう 	
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中の生活について説明を行います ・痛みがある場合は、身体の向きを変えたり痛みどめを使用しますので我慢せずにお知らせください ・神経麻痺症状(しびれ、足の指が動かしにくい)がでたらお知らせください ・食事摂取、歯磨きなど可能なことは自分で行いましょう ・痛みの程度を数字(0から10段階)で表す方法を説明します ・今後在宅介護、退院後の生活について不安や疑問のある方は、看護師に相談してください(介護申請、施設入所など)ソーシャルワーカーと連携します 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術日の朝までに手術承諾書と麻酔承諾書、必要時輸血同意書に署名をし提出してください ・手術後に使用するリハビリ用の靴、靴下を準備してください

1. 入院期間は現時点で予想されるもので、今後の経過でかわることがあります。
2. 経過(病日)予定は土日祝祭日が間に入ると、変更となることがあります。
3. 転院になる場合、入院中の経過、退院時の状態などは、別紙の紹介状で転院先の病院へ連絡します。

経過(病日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目
達成目標	□処置を理解し協力できる	□鎮痛剤を使用しながら痛みを最小限にできる	□鎮痛剤を使用しながら痛みを最小限にできる
処置		<ul style="list-style-type: none"> ・創部に管がはいります(術式により異なります) ・フットポンプ(観血的空気圧迫装置)を装着します(術式により異なります) ・採血を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行います
薬・注射	・点滴があります	・点滴があります	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴があります ・血栓予防の内服が始まります(注射のこともあります。症例により異なります)
食事	・絶飲食です	・水分、食事開始時間は看護師がお知らせします	<ul style="list-style-type: none"> ・手術前と同様の食事が始まります ・嚥下(飲み込み)の状態に応じて食事内容を変更することがあります
安静		<ul style="list-style-type: none"> ・人工骨頭挿入術の場合、ベット上で三角枕を股関節の間にはさみます 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリが開始になり、ベットから足を下ろして座ることが可能となります
清潔			<ul style="list-style-type: none"> ・身体拭きを行います
排泄			
リハビリ			<ul style="list-style-type: none"> ・骨折をしていない足、腕は積極的に動かしましょう ・筋力低下を予防するために下肢訓練を行いましょう ・病室でリハビリを行います
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・金属類、入れ歯、シップははずしておきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、主治医より入院中の経過や退院の目安を説明します ・家族との日程調整をしながら、病棟で連携医療機関への転院について相談を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・血栓症予防の為に、積極的に足関節を動かしましょう

経過(病日)	/ 手術後2日目	/ 手術後3日目	/ ~ / 手術後4~6日目
達成目標	<input type="checkbox"/> 端座位ができる <input type="checkbox"/> 車椅子移乗ができる		<input type="checkbox"/> 車椅子トイレ、ポータブルトイレへの移乗ができる
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・医師がガーゼ交換を行い、創部の管を抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーゼ交換を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーゼ交換は汚れた時に行います
薬・注射	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴があります 		
食事			
安静			<ul style="list-style-type: none"> ・痛み、足の動きに応じて車いすや歩行器の使用が可能になります
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拭きを行います 		<ul style="list-style-type: none"> ・洗髪、手足浴が可能となります ・ウォシュレットの使用も出来る様になります
排泄		<ul style="list-style-type: none"> ・おしっこの管を抜きます ・ポータブルトイレの使用を始めます 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行、立位が安定すれば、トイレまで行くことが可能となります
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・病室でリハビリを行います ・理学療法士と作業療法士で移乗動作練習を行うこともあります 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ室からリハビリを行います ・歩行訓練開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ室で歩行訓練を開始します ・理学療法士の許可があれば、病棟でも看護師が付添い歩行練習が可能となります
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ベットから車椅子またはポータブルトイレの移動は看護師と行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベットから車椅子またはポータブルトイレの移動は看護師と行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動が安定するまでは看護師が付添いますのでナースコールを押してください

経過(病日)	手術後7日目	手術後8~14日目	手術後15日目以降
達成目標	<input type="checkbox"/> 歩行器歩行ができる	<input type="checkbox"/> シルバーカー歩行ができる <input type="checkbox"/> 杖歩行ができる	<input type="checkbox"/> 採血とレントゲンで問題なければ退院・転院可能です
処置	・採血、レントゲン撮影を行います	・14日目に採血とレントゲン撮影を行います ・14日目に弾性ストッキングを除去します ・10~14日頃に抜糸をします	
薬・注射			
食事			
安静			
清潔		・抜糸後、翌日よりシャワー浴が可能となります	
排泄			
リハビリ		・足の運動を続けましょう	
説明・指導	・深部静脈血栓症が疑われる場合は、検査、循環器科の診察が追加されます	・家族の方は、歩行状態の確認のためにリハビリ見学にお越しください	・転院になる場合、入院中の経過、退院時の状態などは転院先の病院へ情報提供します

退院時の日常生活機能評価
合計点 _____ 点


評価日: _____



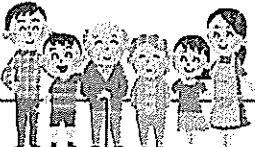

主治医: _____

病院名: 鳥取赤十字病院

大腿骨頸部・転子部骨折の手術(人工骨頭挿入術・骨接合術)を受けられ転院してこられた方へ
地域連携診療計画書 (回復期)

患者様氏名: _____ 様

月/日	/	/
経過(病日)	入院時~1週	入院後2週
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受持ち担当がわかる。 ・病棟の構造、リハビリ・今後の予定等を理解できる。 ・環境になれ不安など軽減できる。 	
治療・薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・持参薬の確認をします。 ・症状に応じて医師が薬の調整を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内服管理出来る方は自己管理を行います。(薬剤師の指導があります)
	<ul style="list-style-type: none"> ・検温可能な方は自己検温を行います。 ・必要に応じて定期的に検査を行います。(血液検査・レントゲンなど) 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養評価を行い状態に応じた食事を開始します。 ・食事摂取状況を確認させていただきます。 	
清潔・入浴	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で体が拭ける方は拭いていただきます。出来ない方は介助します。 ・入浴評価を行い状態に応じ安全な入浴方法を検討します。(週2回介助入浴を行います) ・1人で入浴できる方はしていただきます。 	
整容	<ul style="list-style-type: none"> ・整容評価動作を行い、患者様に合った方法を工夫します。 ・日中はできるだけ洗面に行っていたくように援助します。 	
更衣	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣動作評価を行い、可能な限り自分で出来ることを増やしていきます。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄動作評価を行い、状態に応じた排泄方法を検討します。(尿器・便器・ホータブルトイレ) ・日中はできるだけトイレに行けるように援助します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時トイレ動作を見守りさせていただきます。 ・ご自分でトイレに行ける方は行っていただきます。
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・身体状況を評価し計画を立てて、訓練を開始します。 ・足の力をつけるトレーニングを行います。(立ち上がり訓練など) 	
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟案内を行います。 ・必要書類、1日の流れなどを説明します。 ・医師から今後の目標・予定について説明があります。 ・定期的に専従医の診察があります。 ・自宅環境についてお伺いします。(医療福祉相談をお受けしています) ・介護保険サービス利用を検討します。 ・お困りの事がありましたらお気軽にご相談ください。 	

月/日	/ /	/ ~ /	/ ~ /	
経過(病日)	入院後3~4週	入院後5~6週	入院後7~9週	9週~退院まで
達成目標	・歩行が安定してリハビリの階段を進めることができる。	・日常生活に自信を持ち退院の準備を整えることができる。		・退院後の生活がイメージでき自信がもてる。
治療・薬剤		・引き続き薬の管理を行っていきましょう。 ・内服自己管理の出来ない方はご家族にご指導いたします。		
食事	・必要に応じて、ご本人・ご家族に栄養士による栄養指導を行います。			
清潔・入浴	・ご自宅の入浴環境に合わせた動作訓練を行います。			
整容	・状態に合わせた動作訓練を行います。 			
更衣				
排泄	・ご自宅の排泄環境に合わせた動作訓練を行います。			
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の生活場面・日常動作場面にあった関連動作の訓練を行います。 ・ご本人・ご家族と一緒に退院後の生活動作の確認・指導をしていきます。 ・必要に応じて、家屋調整のため在宅訪問を行います。 ・外出・外泊に向けて指導を行い、外出・外泊を行っていただきます。 ・外出・外泊後の状態を評価し、訓練の追加を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・退院後のリハビリ指導を行います。 (在宅での訓練、注意点) 	
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・医師から毎月目標、今後のリハビリ等についての説明があります。 ・必要に応じてリハビリカンファレンスに参加していただく場合もあります。 ・ケアマネージャーと連携をとっていきましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各担当者、受持ち看護師により退院指導を行います。 	

退院時の日常生活機能評価 合計点 点

本人又は家族サイン() 説明者()

病院名: _____

大腿骨頸部・転子部骨折の手術(人工骨頭挿入術・骨接合術)を受けられた方へ
地域連携診療計画書 (維持期)

患者様氏名: 様

月/日	/ ~ /		
経過(病日)			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活が自立し退院の準備ができる。 ・在宅療養生活を送れる。 		
治療・薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬を飲んでいる方は継続します。 ・自己管理の出来ない方はご家族に管理していただきます。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて検査を行い全身の体調管理を行います。 ・急変時は急性期病院へ連携します。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士より指導を受けた方は継続します。 		
清潔・入浴	<ul style="list-style-type: none"> ・活動度に応じて清拭・シャワー・入浴を選択します。 		
整容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動度に応じて動作訓練を行います。 		
更衣			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自宅の排泄環境に合わせた動作訓練を行います。 ・排泄状況に応じてトイレ、便尿器、おむつ等を決定します。 		
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・活動度に応じたリハビリ・ケアを受け、安心して入院(入所)、在宅生活を送れるよう指導します。 		
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーと連携し相談します。 ・必要に応じて介護保険サービス(通所リハ・訪問介護等)、訪問診療、訪問看護の利用を検討します。 		

退院時の日常生活機能評価 合計点 _____ 点

本人又は家族サイン (_____)

説明者(_____)

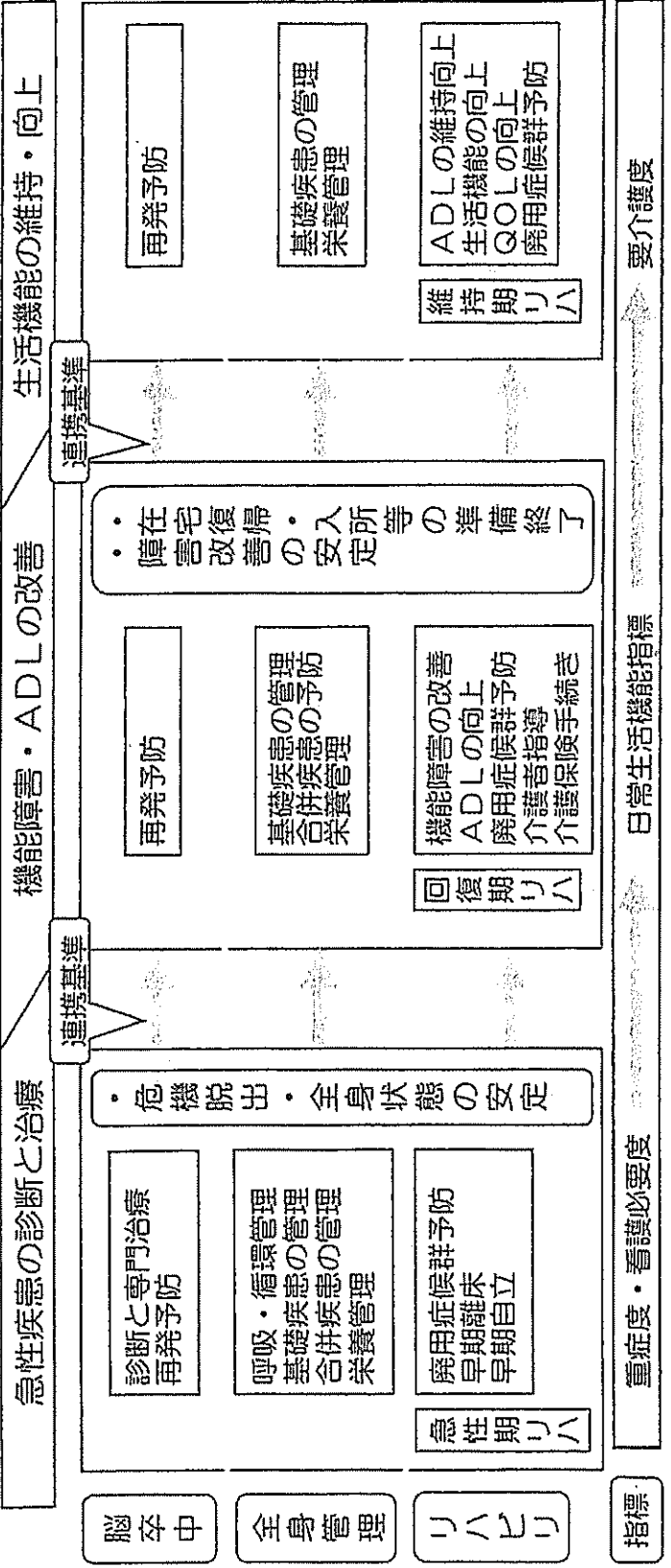
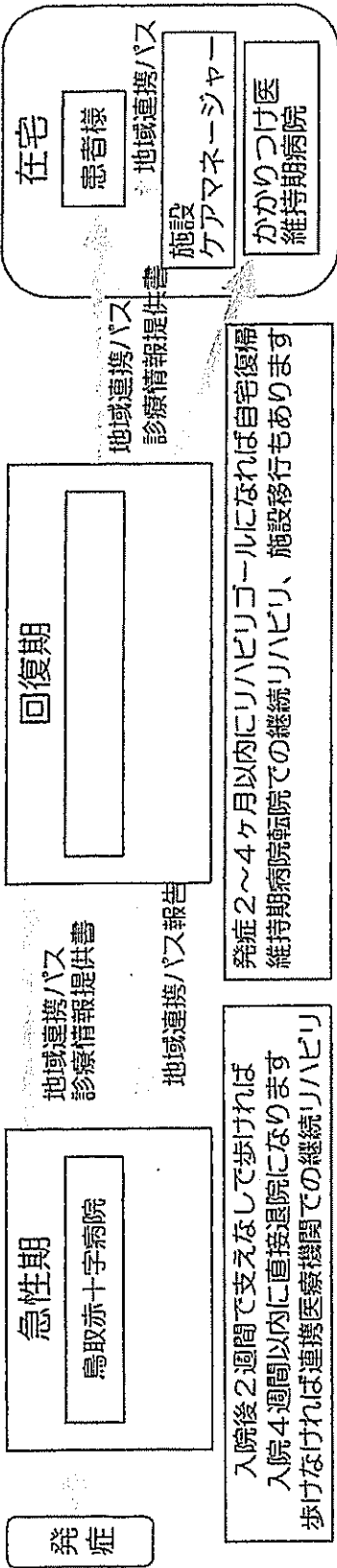
説明日(_____ 年 _____ 月 _____ 日)

病院・医院・施設名: _____

脳卒中地域連携パス説明同意書

①当院は医療法第30条2項に基づき、下記の病院と連携して、共通の診療計画（脳卒中地域連携パス）に基づいて治療を実施しています。当院から転院先の病院に各種の必要な医療情報が申し送られるとともに、転院先の医療機関からの医療情報が連携パス管理病院（急性期の病院）に送られます。
 ②この医療情報は匿名化して地域における脳卒中治療成績向上のために活用させていただきます。医療情報はすべて匿名化され、個人情報公表されることは一切ありません。

患者ID	_____
患者、家族署名	_____
説明者	鳥取赤十字病院 説明日 年 月 日



重症度・看護必要度 ← 日常生活機能指標 → 要介護度

フリガナ氏名	様	性別	年齢	既在症
診断名(部位)	発症日	入院日	治療法	手術日
初発/再発	初発/再発	初発/再発	初発/再発	初発/再発
アレルギー	アレルギー	アレルギー	アレルギー	アレルギー
既往症	既往症	既往症	既往症	既往症
生活情報	退院日	血圧	体温	SP02
転院時情報	転院時情報	転院時情報	転院時情報	転院時情報
担当ケアマネージャー	担当ケアマネージャー	担当ケアマネージャー	担当ケアマネージャー	担当ケアマネージャー
食事	食事	食事	食事	食事
排泄	排泄	排泄	排泄	排泄
入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
移動	移動	移動	移動	移動
整容	整容	整容	整容	整容
建物	建物	建物	建物	建物
階段	階段	階段	階段	階段
手すり	手すり	手すり	手すり	手すり
寝具	寝具	寝具	寝具	寝具
トイレ	トイレ	トイレ	トイレ	トイレ
履装	履装	履装	履装	履装
かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
かかりつけ科	かかりつけ科	かかりつけ科	かかりつけ科	かかりつけ科
紹介医	紹介医	紹介医	紹介医	紹介医
治療	治療	治療	治療	治療
経口	経口	経口	経口	経口
EN	EN	EN	EN	EN
PE	PE	PE	PE	PE
EG	EG	EG	EG	EG
治療食	治療食	治療食	治療食	治療食
摂取加味	摂取加味	摂取加味	摂取加味	摂取加味
食事形態	食事形態	食事形態	食事形態	食事形態
目標水分量	目標水分量	目標水分量	目標水分量	目標水分量
栄養剤	栄養剤	栄養剤	栄養剤	栄養剤
投与量	投与量	投与量	投与量	投与量
投与加味	投与加味	投与加味	投与加味	投与加味
栄養剤	栄養剤	栄養剤	栄養剤	栄養剤
投与量	投与量	投与量	投与量	投与量
投与加味	投与加味	投与加味	投与加味	投与加味
製品名	製品名	製品名	製品名	製品名
投与日	投与日	投与日	投与日	投与日
最終交換日	最終交換日	最終交換日	最終交換日	最終交換日
次回交換予定日	次回交換予定日	次回交換予定日	次回交換予定日	次回交換予定日
機能評価	機能評価	機能評価	機能評価	機能評価
BRS	BRS	BRS	BRS	BRS
Rt	Rt	Rt	Rt	Rt
Lt	Lt	Lt	Lt	Lt
注意機能障害	注意機能障害	注意機能障害	注意機能障害	注意機能障害
遂行機能障害	遂行機能障害	遂行機能障害	遂行機能障害	遂行機能障害
記憶障害	記憶障害	記憶障害	記憶障害	記憶障害
失行	失行	失行	失行	失行
失認	失認	失認	失認	失認
半側空間無視	半側空間無視	半側空間無視	半側空間無視	半側空間無視
失語	失語	失語	失語	失語
構音	構音	構音	構音	構音
検査所見など	検査所見など	検査所見など	検査所見など	検査所見など
TP	TP	TP	TP	TP
HbA1C	HbA1C	HbA1C	HbA1C	HbA1C
Alb	Alb	Alb	Alb	Alb
Hb	Hb	Hb	Hb	Hb
LDL-C	LDL-C	LDL-C	LDL-C	LDL-C
TG	TG	TG	TG	TG
体位交換	体位交換	体位交換	体位交換	体位交換
種類	種類	種類	種類	種類
回数	回数	回数	回数	回数
最終交換日	最終交換日	最終交換日	最終交換日	最終交換日
下剤使用	下剤使用	下剤使用	下剤使用	下剤使用
補器具	補器具	補器具	補器具	補器具
部位	部位	部位	部位	部位
吸引	吸引	吸引	吸引	吸引
気管切開	気管切開	気管切開	気管切開	気管切開
摂取	摂取	摂取	摂取	摂取
回数	回数	回数	回数	回数
プロフィール	プロフィール	プロフィール	プロフィール	プロフィール
グレード	グレード	グレード	グレード	グレード
VF	VF	VF	VF	VF
VE	VE	VE	VE	VE
コメント	コメント	コメント	コメント	コメント

転院時薬物療法

コボント

記入者	医師	：	記入者	看護師	：
記入者	理学療法士	：	記入者	作業療法士	：
記入者	言語聴覚士	：	記入者	MSW	：
			記入者		：

担当者様共通項目

フリガナ氏名	姓別	生年月日	年齢	急性期 病院	回復期 病院	維持期 病院	医療ケア 施設	在宅 1年度
名前 氏名								
入院日	退院日	転居先住所	かかりつけ医	医師 氏名	氏名	氏名	氏名	
				kg	kg	cm	cm	
身長	BMI	体重						

項目	ステップ 1 (ADL全介助レベル)	ステップ 2 (ベッド上動作レベル)	ステップ 3 (準いすレベル)	ステップ 4 (歩行可能レベル)	ステップ 5 (応用歩行可能レベル)
介助度:					
ヘッド・臥床	経過中				
介助度:					
ギョウチン座位	経過中				
介助度:					
標準座位	経過中				
介助度:					

発症前	ステップ	回復期施設	在宅	1年度
発症時	ステップ	回復期施設	在宅	1年度
回復期	ステップ	回復期施設	在宅	1年度
在宅	ステップ	回復期施設	在宅	1年度

項目	発症前	発症時	急性期	回復期	在宅	1年度
セルフトケア	A 起床	B 着替	C 洗面	D 更衣	E トイレ動作	G 床屋コンロール
移動	H 床屋コンロール	I バック椅子車椅子	J トイレ	K 浴槽、シャワー	L 歩行、車椅子	M 移動
コミュニケーション	N 理解	O 表出	P 社会的交際	Q 周囲調整	R 認知	
合計 (7/19)						

HDS-R	急性期 病院	回復期 病院	在宅	1年度
PT-INP	急性期 病院	回復期 病院	在宅	1年度
合計	急性期 病院	回復期 病院	在宅	1年度

NIHSS	
項目	評価値
意識水準	
意識障害 - 意識	
意識障害 - 覚醒	
注視	
注視野	
顔面麻痺 (左)	
上肢麻痺 (左)	
下肢麻痺 (左)	
運動失調	
感覚	
言語	
構音障害	
構文障害	
構文障害 (NIH)	